

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域理学療法学		必修	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博	D317	t-mishina	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	理学療法は病院に入院している患者のみならず、地域で生活している方も対象になる。地域で生活する方の生活自立支援が行えるように、地域理学療法学では、同時双方向型の遠隔講義にて、介護保険をはじめとした法制度を学び、福祉用具の導入方法などを理解すること、また対象者に対する理学療法を説明できることを目的とする。授業は、まず地域の概念について説明し、その後地域分野における理学療法の展開について解説する。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	これまで学習してきた各疾患についての概要および理学療法の評価や治療の内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	標準理学療法学 地域理学療法学 第 4 版/監:奈良勲/編:牧田光代、金谷さとみ/医学書院/2018				
参考書	1.PT・OT ビジュアルテキスト 地域理学療法学/重森健太/羊土社/2015 2.標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第 5 版/著:奈良勲/編:鶴見隆正、隆島研吾/医学書院/2017				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	介護保険をはじめとした法制度を理解できる。			PT(2)~(6)	
②	社会資源、福祉・リハビリテーション関連用具などの導入方法を説明できる。			PT(2)~(6)	
③	各ステージ（施設入所など）における対象者の支援方法について説明できる。			PT(2)~(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	地域の概念と介護保険を中心とした法制度の仕組みについて学ぶ。	同時双方向型授業	介護保険の法制度を中心に講義内容を復習する。	3	
2	ノーマライゼーションとユニバーサルデザインについて学ぶ。	同時双方向型授業	ノーマライゼーションとユニバーサルデザインを中心に講義内容を復習する。	3	
3	福祉・リハビリテーション関連用具の導入および家族へを対象者に対する介助の指導方法について学ぶ。	同時双方向型授業	福祉・リハビリテーション関連用具の導入を中心に講義内容を復習する。	4	
4	通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションにおける対象者に対する理学療法評価と支援方法について学ぶ。	同時双方向型授業	通所および訪問リハビリテーションについて講義内容を復習する。	4	
5	施設入所者および終末期における対象者に対する理学療法評価と支援方法について学ぶ。	同時双方向型授業	施設入所者や終末期の対象者について講義内容を復習する。	4	
6	要介護認定を受けた対象者に対して必要な支援や福祉・リハビリテーション関連用具の導入などについて検討する。	同時双方向型授業	要介護認定について復習する。	4	
7	自助・互助・共助・公助の観点から障害者が地域で生活する上で必要となるシステムについて学習する。	同時双方向型授業	4 助について復習する。	4	
8	地域における障害者支援を「地域包括ケアシステム」の観点から考察し学習する。	同時双方向型授業	地域包括ケアシステムについて復習する。	4	
試	定期試験 到達度評価・評価のポイント参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を行い評価する。講義で使用した配布資料や教科書から国家試験形式で出題し、理解度を問う。				必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	医療機関及び介護保険関連施設にて 8 年間の実務経験						
実践的授業の内容	理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同時双方向型授業では Microsoft Teams を使用する。 ・ 授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。最新のものを確認するよう注意すること。 						